

飢餓から救う。未来を救う。

国連の食料支援機関

国連WFP



学校給食支援(ルワンダ)
© WFP/Aristide Gatera



**World Food
Programme**

世界の飢餓

世界には、すべての人に十分な食べ物があります。

しかし、全人口の**11人に1人**、

最大7億5,700万人の人びとが、

飢餓に苦しんでいます。

脆弱な立場にある人びとは、食べ物を十分に買えず

必要な教育や医療も満足に受けられません。

そこに気候変動や紛争が重なれば、

人びとは土地を追われ、農業や漁業ができなくなり、

食料生産が減って飢餓がさらに深刻化する

悪循環に陥ってしまいます。

特に深刻なのは、子どもの飢餓です。

世界の5歳未満の子どもの死亡原因の約半数は

低栄養に起因しています。

国際社会は、2030年までに

「飢餓をなくす」という目標を掲げていますが、

2024年現在、達成から遠い状況にあります。

飢餓とは?

飢餓とは食事から十分なエネルギーを得られないことによる不快や苦痛のことです。飢餓が続くと免疫力が落ち、病気や下痢などで命を落としてしまうこともあります。

飢餓が深刻なのはどこ?

飢餓人口の割合が高いのはアフリカで、5人に1人が飢餓に直面しています。



© WFP/Abouacar-Sidibe



© WFP/Sitraka Niaina

国連WFPとは



World Food Programme

WFP国連世界食糧計画(国連WFP)は、**飢餓をなくすことを使命とする国連唯一の食料支援機関**です。

災害や紛争時の緊急支援、栄養状態の改善、学校給食の提供などを活動の柱に、120以上の国や地域に拠点を持ち活動しています。国連WFPの活動はすべて、各国の政府の拠出金や、企業・団体、個人などの寄付金でまかなわれています。日本は国連WFPの主要な支援国のひとつです。

国連WFP 日本事務所

国連WFP日本事務所は、日本政府やNGO、企業などとの協力推進と広報活動を行っています。

国連WFP協会

国連WFPを支援する認定NPO法人で、日本における民間向けの公式支援窓口です。

● 国連WFP協会の目的

国連WFPの理念と活動を日本において普及・啓発することで、日本社会から物心両面の貢献をすることです。

国連WFPを応援する著名人



国連WFP親善大使

杏さん

© Junko Tamaki(t.cube)



国連WFP協会
親善大使

三浦雄一郎さん



国連WFP協会
親善大使

竹下景子さん

撮影：篠山紀信



国連WFP協会
親善大使

広瀬アリスさん



SDGsと国連WFP

国連WFPは、目標2「飢餓をゼロに」が他の目標達成の基盤になると考え、その実現を目指しています。

目標2に働きかけることで、他のSDGsにも大きく貢献しています。

2 飢餓を
ゼロに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



飢餓から救う。

SAVING LIVES

緊急支援
支援実績 **1億650**万人

紛争や大災害が起きた時、まず必要とされるのが食料です。国連WFPは、いち早く被災した地域に入り、人びとに生き延びるための食料を届けています。



© WFP/Jacques David

輸送・通信支援
支援実績 **113**の国と地域 (物資を運んだ国と地域)

国連WFPは、食料支援だけでなく、輸送や物流といったロジスティクスおよび情報通信の分野においても人道支援機関の中でリーダーの役割を担っています。



© WFP/Michael Tewelde

未来を救う。

CHANGING LIVES

学校給食支援
支援実績 **2,140**万人

学校給食支援は子どもの栄養状態を改善し、勉強への集中力を高めます。また、学校給食があることで家族が子どもを学校に通わせる動機となり、就学率の向上にもつながります。



© WFP/Alcaldía de Manta

母子栄養支援
支援実績 **2,790**万人

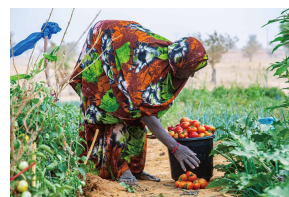
胎児から2歳に成長するまでに十分な栄養をとれないと、身体や脳の発達が遅れ、その影響は生涯にわたる恐れもあります。国連WFPは妊産婦と乳幼児の栄養支援を強化しています。



© WFP/Abubakar Garelnabei

自立支援
支援実績 **900**万人

国連WFPは、職業訓練やインフラ整備などの対価として食料などを支給するとともに、中長期的には住民自身が災害に強い地域づくりや食料不足の解消に取り組むよう促しています。



© WFP/Emelcom

国連WFPの活動資金は、各国の政府、企業・団体、個人からの任意の拠出や寄付によってまかなわれています。



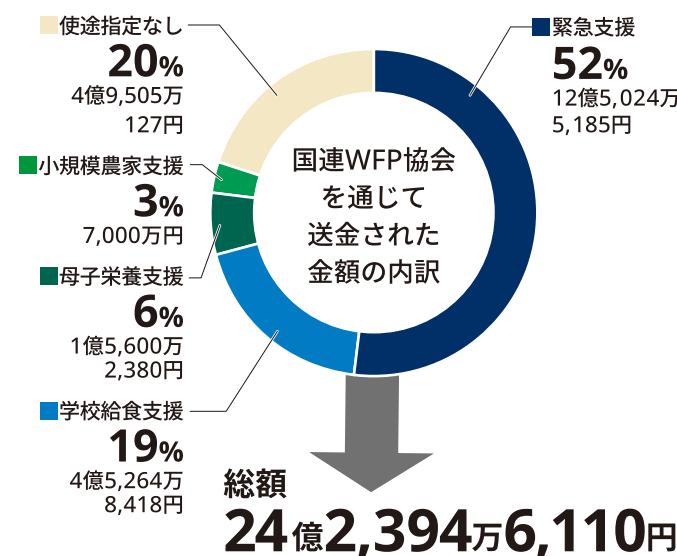
日本から国連WFPへの支援(2023年度)

●日本政府から国連WFPへの支援
国連WFPは日本政府から約286億円(2億897万4,498米ドル)[※]の拠出を受けました。

※令和5年度支出官レートにて換算

●企業・団体・個人から国連WFP協会を通じた寄付金
国連WFP協会を通じた日本の民間からの寄付は32億1,147万9,077円でした。

国連WFP協会は、国連WFP本部との取り決めにより、寄付のうち75%以上は国連WFP本部へ送金しており、残り25%(上限)は国連WFP協会の日本国内での活動および運営管理費などに活用しています。



ご寄付について

※ご寄付の額は任意です。
※下記は一例です(地域やプログラム、
為替レートによって変動します)。



皆さまのご寄付でできること

10,000円



1か月分の緊急食料を
1家族(約5人)に届ける
ことができます。

5,000円



子ども1人に1年間の
学校給食を届けること
ができます。

3,000円



120人の乳幼児に栄養
強化ペーストを届ける
ことができます。



ご寄付の方法

※未成年の方は保護者のご承諾を得てからお申込みください。

今回の寄付	郵便局 (ゆうちょ銀行)から	添付の払込取扱票を切り離し、窓口または払込機能付きATMをご利用ください。
	各銀行 (ゆうちょ銀行以外) から	三井住友銀行 横浜支店 (店番 588) 口座種類・番号: 普通 7478959 口座名: トクヒ)コクレンWFPキヨウカイ 三菱UFJ銀行 本店 (店番 001) 口座種類・番号: 普通 0887110 口座名: トクヒ)コクレンWFPキヨウカイ ※同一銀行間のお振込みは、振込手数料がかりません。 ※領収書をご希望の方は、お電話またはメールにてご連絡ください。
	インターネットで	クレジットカード PayPay コンビニ ご寄付はこちらから   
	お電話で	 0120-496-819 クレジットカードからご寄付いただけます。
毎月の寄付	インターネットで	●口座引落の場合: 「資料請求」より申込書をご請求ください。  ●クレジットカードの場合: 「オンラインフォームからのご寄付」 よりお申込みください。
	お電話で	 0120-496-819 口座引落、クレジットカードからご寄付いただけます。
寄付アプリ		数回タップするだけで 1食分(85円)から寄付 できます。 ダウンロードはこちら   

お申込みに関する
お問い合わせ



0120-496-819 受付時間 9:00~18:00
(年始を除く年中無休)



info@jawfp.org



私たちにできること

参加する

● レッドカップキャンペーン商品の購入

キャンペーンがついた商品を購入するだけで、子どもたちに学校給食を届けることができます。スーパーなどでお買い物の際は探してみてくださいね!



飢餓から救う。
未来を救う。
WFP
国連世界食糧計画



● イベントに参加する

参加費や皆様のアクションが寄付につながります。



● ボランティアに参加する

各種イベントや事務作業を手伝っていただける方を募集しています。詳しくは公式サイトをご確認ください。

知る・知らせる

● ツールを借りて協力をする

募金箱や展示パネルなど貸出を行っています。詳しくは公式サイトをご確認ください。

● メールマガジン・SNSで情報を受け取る

メルマガ



@WFP_JP



@wfp_japanoffice
@jawfp_official

LINE



@WFP.JP

お問い合わせ

WFP国連世界食糧計画 日本事務所
認定NPO法人 国連WFP協会

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜6F

公式サイト



0120-496-819

受付時間 9:00~18:00 (年始を除く年中無休)



info@jawfp.org



※本パンフレットの記載内容は、2024年9月時点のものです